



とむらかつゆき 戸村勝幸県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

地域に密着した防災体制を提言

消防団装備に県の支援を！

9月定例県議会で、県議1期目ながら、本会議場での一般質問に早くも●度目の登壇を果たした香取郡選出の戸村勝幸（とむらかつゆき）県議は、東日本大震災の教訓から、全国的に展開されている市町村における国土強靱化計画の策定について、市町村への支援を強く要望しました。また、地域で活躍する消防団の備品や装備などでも県の支援を要請し、県は補助率の引き上げを行ったことなどを明らかにしました。また、酪農家の若い担い手確保に向け、省力化を進め、働きやすい環境づくりへの県の支援を強く求めました。その他、成田空港の東側地域にも光を当てるような地域づくりを提言しました。

戸村議員 国土強靱化は、町村も計画を策定できる。東日本大震災の苦い教訓を糧として、自由民主党としての強化が進まなければ、本県の強化、ひいては国の強化に足らない。国土強靱化法では、市



本会議場で消防団活動などへの支援を訴える戸村県議

のならないのではないのでしょうか。

県内市町村における国土強靱化地域計画の策定状況はどうか。また、県はどのように市町村計画の策定を支援していくのか。

防災危機管理部長 県内の計画策定状況は、旭市が平成27年3月に策定済みであるほか、千葉市が30年3月に向けて計画の策定を進めています。

県ではこれまで、市町村における計画策定を促すため、県が策定した国土強靱化地域計画の概要を説明するとともに、市町村の計画策定委員として、職員が意見を述べるなどの支援を行ってきたところです。今後も、市町村に対し国土強靱化に関する情報提供や助言などを行うまいります。

要望 県内54市町村のうち、策定済みが1市、策定中が1市で、2市のみとのことですが、住民に一番近い市町村が、強化を進めることが災害時の被害を少なくする第一歩と考えるところです。早急に全市町村が強化計画を策定するよう、県による更なる働きかけを強く要望します。

装備の充実・強化

戸村議員 各地域で活躍する消防団は、まさに地域防災の要です。昨今、災害が大規模化、多様化する中で、新潟県糸魚川市で発生した大規模火災や、熊本地震においても消防団の活躍は目覚ましいもの聞いています。

本県でも、いつ首都直下地震が発生してもおかしくない状況です。そのためには装備の充実・強化が必要です。消防団装備の充実・強化に向け、県はどのような取り組みを行っているのか。

防災危機管理部長 県は、消防団活動を支援し、地域防災力の強化を図るため、消防団詰所、消防ポンプ自動車等の整備や安全装備品の購入に係る経費について、消防防災施設強化事業補助金を市町村に交付し、消防団装備の充実促進を図っています。

本事業は、平成27年度から消防団の新たな装備基準に基づく無線機、防火衣、安全靴などの安全装備品や、消防団員の増員に係る制服等の整備について、補助率を6分の1から3分の1へ引き上げており、これまで

に28団体がこの引き上げ措置を活用しています。**要望** 千葉市などは、若い人が消防団を魅力あるものとして入団してもらえよう、消防団を応援したい。

児童虐待防止に向け

戸村議員 私は、自民党の児童虐待防止対策プロジェクトチームの一員として、4月に施行された「千葉県子どもを虐待から守る条例」の制定に携わってきました。

県においても、市町村における児童虐待防止施策について、必要な支援を行うことが明記されています。児童虐待防止施策に、どのように市町村を支援していくのか。

健康福祉部長 家庭児童相談の窓口となる市町村の対応力の強化や、県との円滑な連携を図るため、
○児童虐待、DV、母子保健担当者や管理職等への研修の実施
○要保護児童対策地域協議会の機能強化を図るための専門家の派遣などの取り組みを行っています。

また、昨年度の児童福祉法改正に伴い、
○協議会の調整機能に配置される専門職に義務化された任用後研修の実施
○市町村に設置が求められている「子ども家庭総合支援拠点」の整備に関する説明会の開催などの取り組みを今年度か

●県政と香取郡に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

議 県事務所
戸村勝幸

〒289-0601 香取郡東庄町笹川4683-3

TEL0478-86-0246 FAX0478-86-2497

は、身近な市町村の対応力が重要だと考えます。子どもを虐待から守る条例」に基づく基本計画は、現在策定中と聞いています。児童虐待に対する早期発見と対応には、市町村との連携が重要と考えますので、計画の中でも市町村との連携をしっかりと位置付け、一層の取り組みをお願いします。

農業、道路、空港問題で訴え!

地産地消の推進

戸村議員 地産地消の促進のため、県ではどのような販売促進活動に取り組んでいるのか。

森田知事 県産農林水産物の地産地消は、県民の皆さまに、食の宝庫である本県の農林水産業に対する理解と愛着を深めていただくとともに、消費拡大や雇用の創出など、地域経済の活性化に大きな効果があると考えています。

酪農ヘルパー制度

戸村議員 若手の酪農家からは、酪農従事者の一人当たりの平均年間労働時間は、2千2百時間を超え、製造業の平均と比べても、労働時間の長さや作業のきつさが、就農をためらう理由の一つになっているとも聞いています。酪農の省力化を進めるため、県はどのような取り組みをしているのか。

農林水産部長 酪農は、省力化を進め、働きやすい環境を整えることが、担い手を確保する有効な手段の一つだと認識しています。県では、搾乳ロボットなどの機

道路問題

圏央道の利用2倍へ

戸村議員 圏央道の茨城県区間開通後の神崎・大栄間の利用状況はどうか。

県土整備部長 圏央道は、今年2月の茨城県区間の全線開通により、東関道から東名高速までがつながり、総延長約300キロのうち、約9割が開通したところです。神崎・大栄間の今年6月の交通量は、1日平均約1万4千台で、平成27年6月

神崎ICの休憩施設

戸村議員 圏央道の神崎インターチェンジ(IC)周辺における休憩施設設置の見通しはどうか。

県土整備部長 サービスエリアやパーキングエリアなどの休憩施設は、観光振興や地域活性化のため必要な施設で、休憩施設を活用した取り組みも行われています。神崎・大栄間の休憩施設

国道356号バイパス

戸村議員 国道356号小見川東庄バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 国道356号小見川東庄バイパスは、現道の渋滞対策や東関道、圏央道とのアクセス強化のため、香取市から東庄町までの8.7キロの整備を進めており、

東庄町の歩道整備

戸村議員 県道旭笹川線の東庄町舟戸地先の歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 同地先は、歩道が未整備で道幅も狭く、隣接して水路もあり、大変危険な状況であることから、延長620メートルの歩道の整備を進めています。これまでに約200メートルの整備が完了したところで、現在、約170メートルの歩道工事を行っており、残る250メートルについても、今年度中の完了を目指して進めてまいります。

多古町の歩道整備

戸村議員 県道多古笹本線の多古町南中地先の歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 同地先では、歩行者の安全な通行を確保するため、延長約1500メートルの歩道の整備を進めており、これまでに約1200メートルの整備が完了したところです。

空港東側にも光を!

戸村議員 成田空港周辺の地域づくりは、空港の西側だけでなく、多古町など東側にも光が当たるような地域づくりを進めるべきだと考えるがどうか。

森田知事 成田空港の波及効果を地域全体で享受できるように地域づくりを推進していかなければならないと考えています。

多古町をはじめ、空港東側を含めた周辺地域全体のバランスの取れた発展を求める意見は根強いものです。基本プランの策定に当たっては、この点を意識して検討していただくことを強く要望します。



再質問に立つ戸村県議

要望 ヘルパー制度やロボットの導入などへの支援を充実させ、省力化が進むよう取り組んでもらいたい。また、育成牧場についても、生産者が使いやすいようにするよう、今後生産者団体の声を吸い上げて、施策に反映させていきたい。

酪農家の作業省力化で要望

要望 早期に完成すれば、地元地域でいろいろな発展がありますので、1日も早い開通をお願いします。

要望 子どもの通学路でもあることから、安全のため早期の整備をお願いしたい。